

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2023年6月25日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



議会報告会を開催 市民の声が届く議会に

統一地方選挙後初めての議会（5月市会）が、5月29日に終了しました。選挙後新しくなった議会では何が起こっているか。市民生活に直結する議案に各議員の態度はどうだったのか。などについて報告しました。特に共産党以外のすべての議員が、市長提案の全議案に賛成したことは、「新しい政治」と言っている維新の本当の姿が分かります。西野市議は「財政が大変だと市民をあおって市民負担を押し付けてきた「行財政改革計画」の撤回を求めた共産党の代表質問と、ジェンダー平等を進める拠点のウイングス京都を含めて、施設の統廃合を早く進めろと求める維新会派の立場の違いが鮮明になりました。」「市営住宅の民間への指定管理者制度の導入は絶対に認められない。市の公の責任を投げ捨てて、民間の仕事作りでは市民生活に責任が持てない。市営住宅は民間のマンションとは違う」と報告しました。準備された椅子がほぼ埋まる参加者



からは、後半の質疑応答で、予定時間延長になるくらいの質問やご意見、提案が出されました。議会ごとの報告会を開き、これからも市民の声が届く議会にする必要があります。次は7月市会です。

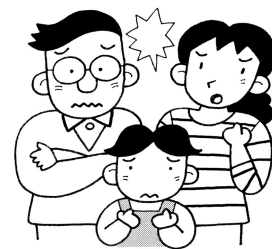
議員日誌

共を切り捨てると市民生活はどうなるか 維新政治見える化プロジェクト



共産党京都市会議員団は、先の統一地方選挙で、この京都でも勢力を拡大した「維新」の政治が何をもたらしたかについて、山中智子共産党大阪市会議員団団長をお招きして、大阪の維新政治の現状を報告していただきました。講演の様子は後日YouTubeでも見られますので、ぜひご覧ください。大阪では公の施設がどんどん統廃合され、民間に売り渡されています。市立の小中学校の校長を公募して、教育者でない民間の人物が校長になり、問題になったことはニュースでも流れていました。地下鉄の儲かる路線は民間に、地域の足として喜ばれていた赤バスもなくなりました。

1 1学級以下の小学校は統廃合するという学校活性化条例を進め、意見を出した校長は処分される。市の職員に「僕の顔をうかがって仕事をしろ」と言い、意見を言った職員には報復をする。憲法違反は当たり前、独裁政治がまかり通る、想像の範囲を超える実態があるとのこと。京都に「維新」政治を持ち込ませないために、引き続きシリーズで取り組みます。



軍事費の拡大は暮らしを壊す 戦争への道！

岸田内閣が進める5年で43兆円という膨大な軍事費の拡大は、今でも大変な国民の暮らしに負担を押し付けるものです。ミサイルを大量に爆買いするなどもってのほかです。共産党市会議員団は7人づつの2班に分かれ、三条河原町で2週に1回の宣伝をすることにしました。1回目の6月15日には観光客



や修学旅行生なども多く、準備したビラが無くなるなど、関心の高さを感じました。

ストップ！インボイス

岸田内閣は今年10月から、インボイス制度を実施しようとしています。今まで免税されていた事業者にも消費税が課せられます。フリーランスの方や中小零細業者の倒産廃業が増えます。共産党市会議員団は市民の皆さんとともに声を上げました。

